

福岡の革新群像

飛躍狙う中小企業⑧

(隔週水曜日に掲載)

CROSSSEED(クロスシード)は近く新型インフルエンザに対応した抗体マスクを発売する。危機管理体制構築のため「マスクや手袋など物品の備蓄を強化する官公庁や病院などがターゲット」(辻政和社長)だ。



辻 社長

CROSSSEED

抗体マスクは従来の静電フィルターに加え、抗原抗体反応でウイルスに瞬時に結合、不活化する抗体フィルターを組み込んだ。同フィルターには大阪府立大学の塚本康治准教授らが開発したダチョウ卵黄を用いたH5N1ウイルス抗体を使っている。猛威を恐れられるH5N1型鳥インフルエンザ対策マスク

鳥インフルエンザ対策マスク ダチョウ卵黄から抗体

ザ。鳥から人への感染についての世界保健機関(WHO)公表の確定症例数では、1月現在で致死率は約63%。今後、人から人へ感染する新型インフルエンザとなった場合は、官公庁や企業総掛かりでの対策が求められる。電力や交通など「ライフライン」に関連する企業は早急な対策が必要」と辻社長は指摘する。

販売開始に向け医療機器商社などを代理店にして全国に販路を構築済みで、普及促進を進める。

▽社長 辻政和氏▽所在地 福岡県飯塚市平恒435の75、0948・29・1761▽従業員 6人▽設立 03年7月

西日本